THE TOHKAI SHIMPO

東海新報

平成23年（2011年）
4月7日 木曜日

第16008号　日 刊（月曜日休刊）

負けるな気仙!!　心をひとつに　復興目指して一歩ずつ前へ!!

きょうの紙面

春の陽気で白梅も子供たちの笑顔も満開、大船渡で今年最高気温に……２面
自治医科大学診療チームが末崎地区の避難所で診療活動……３面
大船渡おさかなセンターにマイヤがテナントで入り食品類をあすから販売……４面

©東海新報社　〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭 9-1 編集専用TEL080-1661-0671 営業・新聞専用TEL080-1661-0672

事業再開へ手探り続く

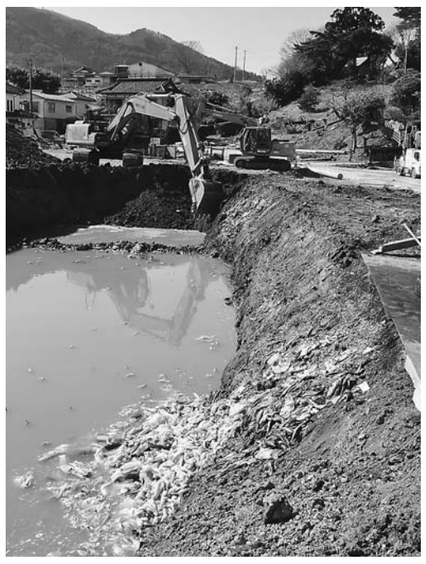
製造業「片付け」に苦戦

気仙沿岸

東日本大震災で被害を受けた気仙沿岸の製造業は、敷地内に残された資材などの片付け作業に追われている。大船渡市内では冷凍庫・冷蔵庫内の水産物や鶏肉を埋設処分する作業が始まっているが、梱包から取り出さなければならず、思うように進んでいないのが現状。各事業主では雇用維持や事業再開の意思はあっても、時期など見通しを立てることができず、厳しい状態が続いている。

水産物の埋設 長期化か

気仙沿岸には地元で水揚げされた魚類を扱う水産加工業をはじめ、製材業、セメント業、鶏肉加工業が集積しているが、いずれも大津波によって甚大な被害を受けた。鉄筋コンクリート造の倉庫など流されずに残っている施設では、従業員らが資材の取り出しや片付け作業に追われている。



水産加工場などからの冷凍品・冷蔵品が運ばれる埋設地＝大船渡市

大船渡市では、倉庫内に保管していた冷凍・冷蔵品の処分に苦労しているとの声を受け、市有地などでの埋設処分にかかる費用の全額負担を決めた。概算費用は約5000万円とみている。

サケやサンマ、イカ、イサダといった魚体と鶏肉を合わせた総重量は、最大で1万5000㌧程度と予想。埋設面積は5カ所合わせて約1万2000平方㍍ほど掘った後に魚体などを入れ、EM菌を投入して腐敗臭拡散を防ぐ。

2日から地中を掘る作業が始まったが、実際に魚体を運び入れる作業は進んでいない。環境面に配慮し、梱包の段ボール箱やビニール袋から魚体を取り出して地中に入れなければならず、人手を必要とするためだ。

作業にあたっていた従業員の一人は「当初は10日間ぐらいと思っていたが、予想以上に時間がかかっている。電気や水が通っていないのも大きい。臭いもひどくなるので、早く終わらせたいのだが」と語る。

大震災から3週間が経過し、冷蔵庫内の水産物は傷みが進む。内部の被害状況を把握するためにも、いったん倉庫を空にしなければ、復旧への見通しが立たない。

11日以降、市内では行政側が費用を負担してがれき撤去にも入る中、建物そのものが今後も使用できるかといった判断にも迫られている。埋設は急ぎたい作業の一つとあって、焦りの声も聞かれる。

市内に工場を構える経営者の一人は「片付け作業は復旧の前段階。従業員や関係者の生活のためには、企業活動の早期再開が大事なはずだが、今は見通しを立てられない状況」と話す。倉庫などの再整備には大規模な投資が必要となる中、資金繰りや技術者確保、整備期間など、さまざまな課題が浮かび上がる。

気仙沿岸の加工業者ら16社で構成している大船渡湾冷凍水産物協同組合。盛漁期には2000人近い雇用があり、各業者に対して早期操業再開を期待する声は多い。佐藤泰造理事長は「復興に向けて動き出しているのは確かだが、あまりにも被害が大きく、手探り状態。何とか水産加工に携わる皆さんが元気になってもらうような体制をつくっていきたい」と話している。

辛い決断から再生へ

「製造業の先陣を」齊藤会頭

齊藤俊明会頭

大船渡市内製造業の一つで、県内屈指の優良企業とされるさいとう製菓㈱の社長を務める大船渡商工会議所の齊藤俊明会頭。東日本大震災での対応では、経営者として苦しい判断に迫られた。それでも復興に向けて前を向き、新たなビジネス展開を交えた地域再興への思いを熱くしている。

同社では、総本店や和菓子製造工場など、大船渡町内にある施設が流出被害を受けた。従業員が片付け作業にあたり、商品として出荷可能だった製造品の多くは、各避難施設に贈った。

主力商品「かもめの玉子」の製造ラインがある赤崎町の中井工場では、稼働が始まった。一方、テナントとして入っていた沿岸部の商業施設では、販売再開の見通しが立っていない。従業員は全員無事だったが、販売店舗は減った。悩んだ末、従業員約250人のうち、53人に対して解雇通告を行った。

「再開時には最優先に雇用する」と約束し、退職金に加え給料1カ月分の解雇手当も支給した。それでも、家族同様に接してきた従業員に告げる言葉としては、あまりに辛すぎた。「断腸の思い。涙を流しながらの選択だった」と振り返る。

製造ラインが復旧しても、観光需要や消費心理の冷え込みなど、当面はいばらの道が予想される。早期製造再開を進める理由について「スタートしないと、どうにもならない。製造業の再開第1号として我々が先陣を切ることで、この地域の早期復興への呼び水となれば」と、前向きに語る。

当面は首都圏を中心とした販売を見据えるが、今後の新たな展開策として、ネット販売を挙げる。「〝三陸は頑張っています〟といったアピールをうまく織り交ぜながら売り込むのも一つの方法では。ネットで注文が来れば、地元でも発送業務などの仕事が増える。復興には企業の力が不可欠」。経済界のリーダー役として再興への道を切り開こうと、意欲に溢れている。

農業被害

水田の海水引かず

調査員「予想以上の規模と範囲」

東日本大震災は、気仙沿岸の水田や畑の農地もズタズタにした。

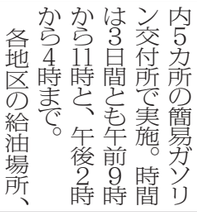
県は、4日から大船渡、陸前高田の両市で農業被害調査を実施しており、現地の調査員も「予想以上の被害の規模」と驚愕。被災面積や被災額の把握に当たっている。

調査は、両市を含む9市町村で8チーム体制で実施し、1チームは県、土地改良工事団体連絡会、コンサル、県職員OBの災害対応チーム（NSS）の4人で構成。農道、水路、排水路の農業用施設の被害を調べている。

気仙地域の農地面積は、水田1400㌶、畑1500㌶あり、調査は被災地を中心に陸前高田市の気仙川沿いの横田町、竹駒町、気仙町から始まった。余震が続く中、がれきや砂の堆積、表土流失など被災状況の把握を行っている。

高田松原に面した気仙町土手影の水田地帯は、未だに海水に覆われたまま。沈下しているように見られ、水路などの痕跡も無い状態。がれきや土砂の量も多く、調査員たちは堆積した土砂や泥をスコップで掘りながら測定している。海水が引けたとしても塩害や水田のひび割れなど被害の種類やコンクリート、家電製品を含む鉄くず、木材、化成品などの割合、水路の亀裂や目地のズレの有無など詳細にわたる。

被害調査の後、査定設計、査定、工事の段階で進められるが、工事の着工時期は未定という。このあと調査は広田、小友、米崎、高田、大船渡市の盛川上流の日頃市町、立根町、末崎町、赤崎、三陸町と続いて行われる



海水が引かず沈下したとみられる水田地帯で、がれきや土砂の量を調べる県の調査チーム＝陸前高田市気仙町

緊急車両などを優先

9日からのガソリン供給

陸前高田市

陸前高田市は9日（土）から11日（月）まで、2回目の無料ガソリン供給を実施する。8日まで各地区で給油券（1台当たり20㍑分）を配布しているが、避難所の緊急車両、通院を要する場合や今回初めて無料供給を受ける避難者などを優先することから、市民らに理解を呼びかけている。

優先されるのは、避難者のうち家を失った人、透析患者や妊婦う通院が必要な人、前回の供給を受けなかった人、避難所や災害地区本部の連絡用もしくは緊急用車両。券は各配布先でなくなり次第、受け付けを終了する。

ガソリン供給は、市内5カ所の簡易ガソリン交付所で実施。時間は3日間とも午前9時から11時と、午後2時から4時まで。

各地区の給油場所、給油券の受付先は次の通り。

◇生出、矢作、下矢作、横田、竹駒▽給油場所＝竹駒神社社務所前駐車場▽受付先＝各地区のコミュニティセンター

◇高田▽給油場所＝陸前高田ドライビングスクール▽受付先＝第一中学校

◇米崎、小友▽給油場所＝旧長谷川ゴルフガーデン▽受付先＝米崎コミセン、門前公民館

◇気仙、長部▽給油場所＝長部小学校▽受付先＝長部小学校

◇広田▽給油場所＝広田小学校▽受付先＝広田小学校

米小で仮設住宅着工

大船渡 車両1600台撤去

大船渡市

大船渡市によると、6日午後4時30分時点での死亡者数は279人で、5日と変わらなかった。

行方不明者は231人で、前日よりも6人増えた。生存確認者は7人で、新たな不明者の追加は13人だった。捜索活動は自衛隊や市、海上保安庁、地元消防団など160人体制で行われた。

市内では道路沿いのがれき撤去と併せて、交通の妨げになる被害車両の撤去・移動が進められている。5日までに1619台となり、永浜・山口地区岸壁の工業用地予定地に運ばれている。

市では当初、運搬可能台数は約1700台とみていた。今後は民有地でもがれき撤去に入り、車両台数の増加が見込まれる。佐藤守都市整備部長は「現状では（予定地は）3分の2程度まで埋まった状態となった。次の候補地を探すことも検討したい」と語った。

陸前高田市

陸前高田市によると、住宅被害数は3600戸で、被災人員は1万547人。5日午後6時現在、死亡者は1158人と前日より29人増え、14人の身元が判明した。遺体安置所は米崎中、矢作小両校の体育館と住田町生涯スポーツセンターの3カ所で、開所時間は午前8時30分から午後5時。

行方不明者は6日午後4時現在で1198人と、前日より14人減少。同日同3時現在、避難所は83カ所で、避難者は7272人と4日から変わっていない。

市は5日に行った仮設住宅の抽選結果について、6日に当選者へ確認をとったところ優先で1世帯、一般で3世帯が辞退したと発表した。辞退の理由は各世帯によって異なり、明らかにはなっていない。

このため、担当の建設課では同日追加抽選を行い、新たな当選者らに入居の意思などを確認。全当選者らを対象とした説明会は8日午後2時から仮庁舎の同課で行われ、各戸に家電や日用品などがそろう予定の10日をメドに入居可能となる。

一方、米崎小学校グラウンドでは5日、仮設住宅60戸の建設がスタート。今月下旬の完成を目指し、工事が進められている。

住田町

6日正午現在、住田町民の行方不明者は紺野仁さん（上有住桧山）佐々木洋子さん（下有住新切）の2人。災害対策本部では引き続き情報収集と提供を呼びかけている。

同日から、独自建設の応急仮設住宅の入居申し込み受け付けがスタート。開始の午前9時から町外からの希望者が続々と訪れた。

仮設住宅は町産材を使った木造一戸建て（29・81平方㍍）の小家族用（2～3人）。世田米2団地、下有住1団地に計93戸を建設する。

受け付けは12日（9、10日も開庁）の午前9時から午後5時まで。町役場災害対策本部窓口まで訪問か電話（0190・3645・9939、090・3755・8904）で。申し込みが建設戸数を超えた場合は公開抽選を行う。

問い合わせは、町建設課住宅係（TEL46・2111内線212）へ。

世迷言

激甚災という表現が足りないほどの超災害を体験し、もう何を見ても驚かなくなったが、痛烈なショックがいまだ消えないのが高田松原のあまりに悲しい変わりようだった▼国の名勝、日本百景など多くの指定を受け、日本三大松原の一つとしてまさに白砂青松の美景を誇っていた郷土の宝が、跡形もなく消えていたという現実を目の当たりにして、信じられない思いを拭いきれないのは当然だ。チリ地震津波では中央の一部がなぎ倒されはしたものの、松の美林は全体的に保たれて松原の名を汚すことはなかった▼だが、すさまじいエネルギーを秘めた今回の震災はその松林を根こそぎ倒し、あの砂の汀を海中に沈めてしまった。松原球場が観客席あたりを海面レベルにして水没していることは、激しい地盤沈下が起きたことを物語っているが、国道45号線のバイパスの端まで海が迫った光景は悪魔の仕業としか思えない▼本県を代表する海水浴場はその役割を失い、松原という美称は過去形として留められるに過ぎなくなった。この無情、無念は陸前高田市民のみならず気仙にとって痛恨の極みといったありきたりの言葉で言い表すことはできない。一瞬にして高田松原が消えてしまったというその事実を▼俳優の村上弘明さんがその無念さを代弁している。「戦争ならお目こぼしもある。しかしこの震災はなにもかも根こそぎ奪ってしまった。ひどすぎる。あまりにひどすぎる」と。だが、いずれの後にか市民は高田松原を再興するはずである。そう信じたい。

天気

◆きょう　晴れ

◆あす　くもりのち一時雨

海上（波の高さ）

◆きょう　1m

◆あす　1.5mのち2m

きのうの気温（右は平年比、△高 ▼低）

◉最高　19.5℃　△ 7.6

◉最低　7.3℃　△ 4.8

あすの暦

4月8日（旧3月6日友引）

日出	5：07	満潮	4：54
日入	18：02	〃	18：52
月出	7：22	干潮	12：04
月入	22：36	〃	23：37
月齢	4・5	—中潮—	（大船渡湾）

震災関連
総合金融相談会のお知らせ
市内中小企業のみなさまへ

と　き／4月8日㈮
AM10：00～PM4：00

ところ／猪川地区公民館

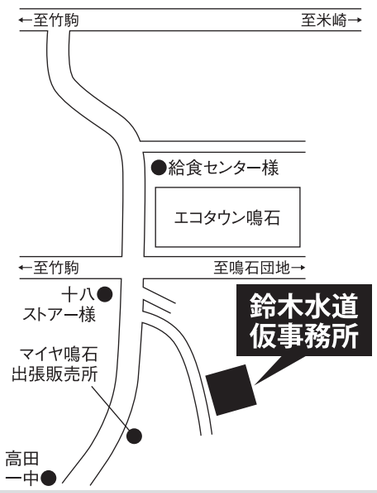
◆相談対応者◆
日本政策金融公庫一関支店 国民生活事業職員
〃　盛岡支店 中小業企業事業職員
岩手県信用保証協会大船渡支所 職員
大船渡市商工観光物産課 担当職員
大船渡商工会議所 担当職員

◆主催・お問い合わせ
大船渡商工会議所　大船渡中小企業相談所　大船渡経営安定特別相談室　080-1661-0273～0276
仮事務所／大船渡市盛町 サンリア2F100円ショップ様隣り

営業再開のお知らせ

この度の大災害で被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。
一日も早く復旧されるよう、心からお祈り申し上げます。
弊社も社屋及び自宅が被災し、お客様には大変ご迷惑をお掛けいたしておりましたが、高田町鳴石に仮事務所を開設し、災害復旧等（給排水、住宅設備工事一式）のご相談を承る体制が整いました。
どのようなご用件でもお気軽にご相談下さいますよう紙上をお借りしご案内申し上げます。

仮事務所：陸前高田市高田町字鳴石54-15
連絡先：090-2368-4085（鈴木）



有限会社 鈴木水道　代表取締役 鈴木　勉